

今日もたべた？ 本ごはん

ゆざせ目標冊数！



とうごうしょうがっこう としょかん へいせい ねん がつごう
東郷小学校 図書館だより 平成28年 10月号



あめ あき ふか ひと雨ごとに秋が深まり…

あき よなが こころしず べんきょう ほん よ じかん
秋の夜長は、心静かに勉強したり、本を読んだりするのにぴったりな時間です。

どくしょ あき こんげつ き も け かぞく
読書の秋。今月はいつもよりゆったりした気持ちで、テレビを消して、家族そろって読書をするのもいいですね。

がつ がつ こうないどくしょげっかん き かんちゅう ほん かしだし
10月5日から11月4日までは、“校内読書月間”です。期間中は、本の貸出を毎日2冊、ブックリストや読書郵便、読書クイズをします。それぞれに本に親しむ

き かい おも たの
機会になればと思います。楽しみにしててくださいね！

き せつ

季節のおはなし



がつ
10月のあれこれ

あきば しつど ひく せいてん なが つづ おんな おとこ こころ
＜秋晴れ＞ 湿度が低く、すがすがしい晴天のこと。長くは続かないことから「女（男）心と

あき そら
秋の空」とたとえられます。

あき よなが あき よる なが
＜秋の夜長＞ 秋になって、だんだんと夜が長くなることをあらわしたことばです。

うた

10月の詩

ちゃき しげる
茶木 滋氏は「めだかの学校」を作詞しました。

いじめっ子
かっちゃん かずの子
にしんの子
わるくち いう子は
どこの子だい。
赤いポストの
まがりかど
ちよっぴり 顔だし
べっかんこ。（あかんべいのこと）
せいたかのつぼ
いじめっ子
からすのおきゆうを
すえてやれ。
学校のかえりに
いつもいる
茶木 滋
こんどは こつちが
いつてやる。
かずのことつても
たかいんだぞ。



お知らせ



○ 10月の図書室お休みの日 毎週火曜日と6日・28日

※ 22日は研修会のため、午前中のみのお貸出です（昼休みはあいていません）。

★ 本の貸出…毎日2さつ ★ 今月のスペシャルデーは7日！4さつ借りれます

★ 10/13(木)は移動図書の日です

○ 校内読書月間について（10/5～11/4）

- ★ ブックリスト…5冊読むごとに「もう1冊かりられます券」がもらえます。
- ★ 読書郵便…児童玄関前の郵便ポストに入れてください。
- ★ 読書クイズ…児童玄関前の箱に入れてください。

10問中7問以上正解で「もう1冊かりられます券」がもらえます。

- ★ しおりのプレゼント…ブックリストの本を5冊読んだ人から順に、一人1枚しおりをプレゼントします。

10月

こんげつ

今月のいいね！

やさしい気持ちになれる本

2学期が始まって1ヶ月が過ぎました。

みなさん、疲れていませんか？

毎日練習した運動会、陸上記録会の練習…地域の行事など。

イベントがだくさんで、疲れが出やすい時期です。

疲れていると、ついつい乱暴な言葉づかいになったり、いじわるな態度をとってしまったり…。

そんなときは、やさしい気持ちになれる本を読んで、心にたっぷり栄養をあげてくださいね！



『どうぞのいす』

香山美子 作/柿本幸造 絵/ひさかたチャイルド

うさぎさんが小さいいすをつくって、のはらの木の下におきました。そのそばに「どうぞのいす」とかいた、たてふだも立てました。ある日、ろばさんがどんぐりの入ったかごをおいておひるねをしているうちに……。「どうぞ」にこめられたやさしさがつたわってくるロングセラー絵本☆

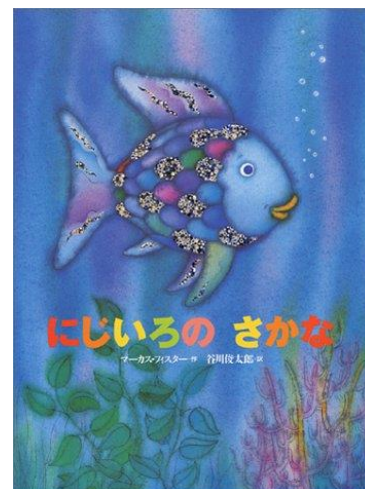


『メガネをかけたら』

くすのきしげのり 作/たるいしまこ 絵/小学館

メガネをかけなくちゃいけなくなった。そんなのぜったいにいや！だって、だれもかけてないもの。きっと、みんなに笑われるもの…。

はじめてメガネをかける子どもの不安をえがく、心があったかくなるおはなし。



『にじいろのさかな』

マーカス・フィスター 作/谷川俊太郎 訳/講談社

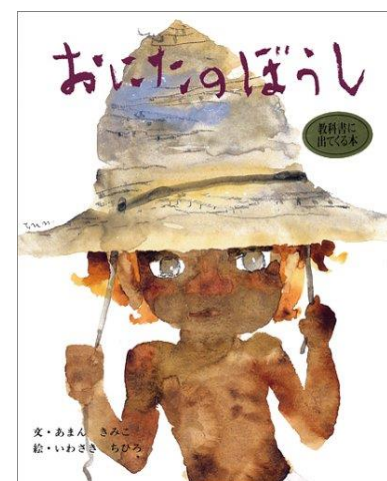
にじいろにかがやくうろこをもった、世界で一番美しい魚がいた。でも、ひとりぼっちだった。ぼくはこんなにきれいなのに、どうしてだれも好きになってくれないの？ある日、かしこいタコのおばあさんに相談に行くことに…。



『ずーとずっとだいすきだよ』

ハンス・ウェルヘルム 絵・文/久山太一 訳/評論社

エルフィーとぼくは、いっしょに大きくなった。年月がたって、ぼくの背がのびる一方で、愛するエルフィーはふとって動作もにぶくなっていった。ある朝、目がさめると、エルフィーが死んでいた。深い悲しみにくれないながらも、ぼくには、ひとつ、なぐさめがあった。それは……。



『おにたのぼうし』

あまんきみこ 文/いわさきひろみ 絵/ポプラ社

物置小屋のてんじょうに、おにたという名前の小さなくろおにの子どもがすんでいました。節分の夜、角かくしのむぎわらぼうしをかぶって、おにたは物置小屋を出ていきました。そして、おにたは病気のお母さんを看病する女の子に出会います……。